



いしかわさとこ しょうなんがくえん そつぎょう こうちょうしつ  
石川智子さん(湘南学園小~中2013年卒業)が校長室  
に来てくれました!

とうじ がっこう  
「当時この学校で『やりたいことをしくみに落とす』というこ  
とを学びました」

「この小学校で?」

「はい。『マンガを学校に持ってきたい』と言ったら、先生が自分たちでルールを決めさせ  
てくれたんです。授業中読む人が出てきたりして、話し合っ  
てルールを精緻化していくと  
言う経験をしました。失敗から学ぶんです。やりたいことを尊重していいんです」

「それで、今、自分がやりたい事って何なんですか?」

「『メンタルヘルス』で貢献したいんです。自分はここの中学校を出た後、高校で心理学が  
学べるニュージーランドに留学して、大学行った後、アマゾンの人事部で働いている  
んですが、今度、公認心理師として起業しました」

「留学や起業や、いろいろと勇氣ありますねえ!」

わたし じしん  
「私は、なぞの自信があるんですよ。やりたいことを口に出せば応援してくれる人が必ず  
あらわ とうじ  
現れる、という。これって、当時応援してくれた先生たちから受けた感覚だと思います」

ここで、寺田先生が、当時の文集「まつぼっくり」を探して持ってきてくれました。

「石川さん、自分がこ  
れにどんなこと書いた  
か覚えてます?」

「いやあ、全然覚えて  
ないです。卒業してか  
ら読んでないし。なに  
書いてありますか?」

「小学校のときに自分  
の未来を知ってたみた  
いですよ」

「え!.....  
えー、ほんとだ!」



恩師の鈴木先生と再会

まづ、さとの将来の夢は、心理カウンセラーです。  
なぜ心理カウンセラーになりたいかというマンガの  
影響でした。そのマンガの主人公が対人恐怖症で男の人  
がその病気を治してくれるっていうマンガでした。その  
男の人が主人公を真剣にカウンセリングしているシー  
ンを見て自分も悩んでいる人をいっしょに考えたいと思  
いました。自分はまず、その一歩として高校生の時、オ  
ーストラリアに留学したいと思っています。なぜ留学した  
いかというと外国の高校の授業には、心理の授業がある  
からです。大学に入ってからではなく、高校から心理の  
勉強がしたいのです。そのあと、大学に入って、もつと  
人の心理をきちんとしりたいです。大学卒業後は、病院  
で臨床心理師として働き、いずれ独立してもつと悩んで  
いる人の心を見たいです。

まづの夢

石川 智子